

8. 年表

横幹連合 小史 (2001.4-2013.3)

年度	総会・組織・外部連携・声明	公開会合	調査研究	広報出版
2001	<ul style="list-style-type: none"> ・10 学会の代表による「学会連合懇談会」を結成 (2001.4) ・12 学会による提言「横断型科学技術の重要性について」を総合科学技術会議に提出 (2001.12) 			
2002	<ul style="list-style-type: none"> ・30 学会による「設立準備委員会」発足 (2002.5) 	<ul style="list-style-type: none"> ・JST 異分野研究者交流フォーラム「横断型基幹科学技術—新技術の新しい基礎を求めて—」(2002.11.29-12.2, 大磯プリンス) 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 14・15 年度文部科学省科学技術振興調整費政策提言プログラムの「横断型科学技術の役割とその推進」を、中核研究母体として推進 (2002.8-2004.3) 	
2003	<ul style="list-style-type: none"> ・設立総会 (2003.4.7, 山上会館) : 30 学会 ・委員会構成: 総務・財政 (出口), 企画 (木村), 事業 (土井), 広報 (千原), 出版 (木下), 教育 (今野), 産業連携 (館), 国際 (曾我) (2003.5) ・調査研究委制度を採択, 総務・財政委が管掌 (2003.9) ・知財問題委員会 (今野浩) から「知財立国実現のためのパブリックコメント」を政府に提出 (2003.10.14) ・臨時総会 (2003.12.1, 山上会館) : 8 学会入会 ・文書による臨時総会 (2004.2) : 2 	<ul style="list-style-type: none"> ・横幹連合設立記念シンポジウム「安全で安心できる社会と産業の高付加価値化による活性化をめざして」(2003.6.27, 山上会館, 101 名) ・平成 14・15 年度文科省科学技術振興調整費政策提言プログラム「横断型科学技術の役割とその推進」最終提言へ向けたパネル討論会 (2003.6.28) ・平成 14・15 年度文科省科学技術振興調整費政策提言プログラム「横断型科学技術の役割とその推進」最終報告シンポジウム「横幹科学技術に期待する～21 世紀わが国の科学技術立国への新展開～」(2004.3.4) 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究会設置「シミュレーションと SQC (樫広計, 2003.12-2005.11)」「開発・設計・プロセス工学 (林利弘, 2003.12-2005.11)」「横断型基幹科学教育 (原田昭, 2003.12-2005.12)」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ本格稼働 (2003.8) ・ニュースレター No. 001 発行 (2004.1) ・パンフレット作成 (2004.2) ・横幹連合 e-journal 検討

	<p>学会入会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回横幹技術フォーラム「横幹技術を考える」(2004.7.14), 以後, 継続開催 ・学術会議共催シンポジウム「21世紀の学術における横断型基幹科学技術の役割」(2005.1.18-19, 学術会議講堂, 349名) [理事会議事録: 会員学会を4テーマに分け事前討論の成果を発表した「横幹学術活動の報告」では, 短い準備期間のなかで明確な答えを出すまでには至らなかったが, 問題提起まではできた。今後, ここから調査研究委員会などの形で発展が期待される。] ・第1回技術シンポジウム「世界をリードする先進モノづくりを目指して」(開発・設計・プロセス工学調査研究会, 2005.1.21, 日立東御茶ノ水ビル, 192名) [理事会議事録: まさに横幹的な内容のシンポジウムであり, 参加費有料という初の試みが盛会であったことは喜ばしい。] 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究会設置「次世代システム工学の構築(出口光一郎, 2004.12-2006.3)」 ・振興調整費申請を念頭に災害リスクにかかわるプロジェクト設置を検討(2005.1) ・知財問題報告書(2005.3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニューズレターNo.002(2004.7), ニューズレター No.003(2004.11)
2004	<ul style="list-style-type: none"> ・定時総会(2004.4.14, 山上市会館) ・委員会構成: 企画(木村), 事業・広報(谷江), 学術(鈴木), 出版(木下), 産業連携(館), 国際(松永), 知財・教育(今野), 総務・財務(出口) ・活動活性化検討: 事例集を作りコンセプトの具体化したものを見せる/交流・議論の場としてシンポジウムを開催/シンポジウム⇒出版というサイクルを作る/異分野学会によるプロジェクト推進/知識を使う・社会ニーズに応える(2004.5) ・NPO法人化を検討着手: 企業から問題解決要求への一括請負, 公的研究資金の受託機関, 国施策としての社団法人⇒NPO法人(2004.9) ・横幹科学技術推進協議会発足(2004.5) ・産学連携スペシヤリストデータベース作成(236名登録) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回横幹コンファレンス「知のダイナミックデザイン」(鈴木久敏, 2005.11.25-26, JA長野県ビル, 276) 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究会設置「共生コミュニケーション支援(井越昌紀, 2005.4-2007.3)」[リスク・可視 	<ul style="list-style-type: none"> ・英文誌発行を検討(SICE連携, 小規模学会支援) ・横幹連合新ロゴ制定
2005	<ul style="list-style-type: none"> ・定時総会(2005.4.26, 山上市会館) ・委員会構成: 企画(木村), 総務・会員(江尻), 事業・広報・出版(谷 			

	<p>江), 学術・教育・国際(鈴木), 産学連携(館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3期科学技術基本計画へ提言(2005.9.1) ・NPO法人設立総会開催(2005.10.14) ・コトつくり長野宣言(2005.11.25) <p>[理事会議事録:横幹連合参加学会の会長懇談会(11月25日、長野市)を開催し、「コトつくり長野宣言」の採択、今後の活動についての意見交換等を行った。長野市長のあいさつ、報道取材もあり、テレビのニュース、新聞で報道された。]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員学会会長懇談会で小規模学会から会費引き下げの要求があり会費体系を見直し総会案を作成(2006.2) 	<p>名) [理事会議事録:ベストセッシヨン賞として、横幹の理念に沿いかつ最も盛り上がったセクションとして、知の統合セクション「双対性」(オーガナイザー・室田一雄氏、発表者5名で構成)を表彰する。]</p>	<p>化(旭岡勝義, 2005.4-2007.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横幹協議会プロジェクトに関し4件のフイジービリティスタディを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員学会キヤッチアップレートを掲載した新規パンフレット作成 ・ニュースレターNo.004(2005.12), ニュースレターNo.005(2006.3)
2006	<ul style="list-style-type: none"> ・定時総会(2006.4.24, 山上会館) ・委員会構成:企画(木村), 総務・会員(出口), 事業・広報・出版(江尻), 学術・教育・国際(鈴木), 産学連携(矢川) ・学術会議協力学術研究団体に申込(2006.6) ・シンポジウムに合わせ代議員懇談会実施(2006.12) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回技術シンポジウム「世界をリードする先進的モノづくりを目指して(2)」(開発・設計・プロセス工学調査研究会, 2006.4.17, 日立東御茶ノ水, 150名) ・ワークショップ「横断型科学技術と数学」(学としての知の統合委, 2006.10.23, キャンパスイノベーションセンター, 91名) ・第1回横幹連合総合シンポジウム「統合知の創成と展開を目指して」(佐野昭, 2006.12.1-2, キャンパスイノベ 	<ul style="list-style-type: none"> ・学としての知の統合委員会を設置(木村英紀, 2006.7) [理事会議事録:文部科学省科学技術政策研究所による「忘れられた科学—数学」について、対応ワーキンググループを編成する。] ・内閣府から調査受託「イノベーション戦略に係る知の統合」(2006.10-2007.3) ・政策科学研究所から受託「我が国のシステム技術に関する文献等のレビュー調査」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースレターNo.006(2006.6), ニュースレターNo.007(2006.9), ニュースレターNo.008(2006.12) ・会誌の原稿確保, 配布方法など検討

		<p>センター, 206名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム「こころを結ぶ共生時代にむけた技術戦略を探る」(共生コミュニケーション支援調査研究会, 2006.10.14, 中央大後楽園キャンパス) 	<ul style="list-style-type: none"> ・横幹ロードマップ策定活動開始, WG1 制御・管理技術, WG2 シミュレーション技術, WG3 ヒューマンインタフェース, WG4 ものづくり (2007.1) ・協議会プロジェクト契約第1号 (2006.8-2007.3) 	
2007	<ul style="list-style-type: none"> ・定時総会 (2007.4.9, 山上会館) ・委員会構成: 企画 (木村), 総務・会員 (出口), 事業・広報・出版 (江尻), 会誌 (原), 学術・教育・国際 (鈴木), 産学連携 (矢川), 学としての知の統合 (木村), 横幹ロードマップ (江尻) ・横幹型プロジェクト提案募集 (2007.6) ・京都宣言「コトづくりによるイノベーションの推進」 (2007.11) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回横幹連合コンファレンス「異分野をつなぐ知のシナジー」(榎木哲夫, 2007.11.29-30, 京都大学, 230名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究会設置「医薬品インタフェース (土屋文人, 2007.4-2009.3)」 ・「横断型人材育成推進 (佐野昭, 2007.5-2009.3)」 ・経産省から平成19年度アカデミック・ロードマップ作成新事業の一環として「学会横断型アカデミック・ロードマップ」作成を委託 (株KRI からの再委託), 報告書を提出 (2007.8-2008.3). ・協議会共通プロジェクトとして「企業内 SNS」推進 (太田敏澄, 2007.10) 	<ul style="list-style-type: none"> ・会誌創刊「横幹」1-1 (2007.4), 「横幹」1-2(2007.10) ・ニュースレターNo.009 (2007.4), ニュースレター No.010 (2007.7), ニュースレターNo.011 (2007.10), ニュースレター No.012 (2008.1) ・HP 英文化について検討
2008	<ul style="list-style-type: none"> ・定時総会 (2008.5.14, 学生会館): 木村英紀体制の発足 ・委員会構成: 企画・事業 (鈴木), 総務・会員 (出口), 学術・国際 (木村), 産学連携 (館), 広報・出版 (西村), 会誌編集 (原) ・横幹連合会長・副会長と会員学会役員との懇談会実施, 会員学会の相互 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回横幹連合総合シンポジウム「横幹技術の社会的使命: 高付加価値社会の実現に向けて」(椿広計, 2008.12.4-5, 筑波大学東京キャンパス, 約200名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究会設置「社会デザイン(古田一雄, 2008.4-2010.3)」 ・「システム工学とナレッジマネジメントの融合」(中森義輝, 2008.4-2010.3) ・協議会連携「経営高度化プロジェクト」発足, 以後, シリーズフォーラム, 調査研究会設置へ 	<ul style="list-style-type: none"> ・会誌「横幹」ミニ特集「マネジメント」2-1 (2008.4), 「横幹」ミニ特集「アカデミック・ロードマップ」2-2 (2008.10) ・ニュースレターNo.013 (2008.4), ニュースレター No.014 (2008.7), ニュースレターNo.015 (2008.10), ニュースレター

	協力案のうち「研究会等の行事への参加費の相互優遇」「出版物等の購入費の相互優遇」について検討 <ul style="list-style-type: none"> 活動理念・研究事例の交流を意図した横幹連合・統数研・産総研合同ワークショップ (2009.1.19, 産総研臨界副都心センター本館), 継続交流を合意 横断型科学技術を定義 		(2008.8) <ul style="list-style-type: none"> 経産省事業アカデミック・ロードマップ作成事業受託 (700 万円), 知の統合 WG, 社会システムシミュレーション WG, 人間生活支援 WG にて対応 	No.016 (2009.1)
2009	<ul style="list-style-type: none"> 定時総会 (2009.4.20, 山上会館) 委員会構成: 企画・事業 (原山), 総務・会員 (出口), 学術・国際 (木村), 産学連携 (舘), 広報・出版 (西村), 会誌編集 (青木) 第 4 期科学技術基本計画に対応した起草委員会を設置 (2009.6.4) 第 4 期科学技術基本計画に関する声明発表 (2009.12) および総合科学技術会議への提言 (2010.1) 民主党市民団体からの協力依頼があったが短期での結論を得るのが難しく辞退 (2010.3) 	<ul style="list-style-type: none"> 第 3 回横幹連合コンファレンス「コトづくりの可視化」(出口光一郎, 2009.12.3-5, 東北大学片平さくらホール, 約 200 名) 	<ul style="list-style-type: none"> 調査研究会設置「人工社会 (倉橋節也, 2009.9-2011.8)」「医薬品インタフェース (土屋文人, 2009.4-2011.3)」「経営高度化に関わる知の統合 (松井正之, 2010.1-2011.12)」 RISTEX 研究開発成果実装支援プログラムへの提案「中心市街地活性化のための顧客行動シミュレータの実装(2009.10 から 3 年間, 1950 万円)」不採択 (2009.9) 	<ul style="list-style-type: none"> 会誌「横幹」ミニ特集「横断型人材育成」3-1 (2009.4), 「横幹」ミニ特集「女性研究者の育成」「2008 年度分野横断型科学技術アカデミック・ロードマップ」3-2 (2009.10) ニューズレターNo.017 (2009.4), ニューズレターNo.018 (2009.7), ニューズレター No.019 (2009.10), ニューズレター No.020 (2010.1)
2010	<ul style="list-style-type: none"> 定時総会 (2010.4.17, 山上会館) 委員会構成: 企画・事業 (原山⇒安岡), 総務・会員 (田村), 学術・国際 (出口), 産学連携 (舘), 広報・出版 (太田), 会誌編集 (青木) 会員学会の新規加入 10 学会を目標 	<ul style="list-style-type: none"> 第 3 回横幹連合総合シンポジウム「横幹技術の役割と新局面」(田村義保, 2010.9.5-6, 早稲田大学早稲田キャンパス, 登録 126 名 (工学アカデミー共催パネル討論は約 200 名出席)) RISTEX 受託事業に関しワークショップ 	<ul style="list-style-type: none"> 調査研究会設置「システム科学とナレッジマネジメントの融合(中森義輝, 2010.4-2012.3)」「横断型人材育成 (本多敏, 2010.9-2012.3)」「RISTEX 問題解決型サイバースcience 研究開発プログラムに応募し「地 	<ul style="list-style-type: none"> 会誌「横幹」ミニ特集「経営高度化への横幹的取り組み」4-1 (2010.4), 「横幹」ミニ特集「社会デザイン」4-2 (2010.10) ニューズレターNo.021 (2010.4), ニューズレター No.022

	<p>す活動を実施（セキユリテイ・マネジメント学会入会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本学術会議理学・工学系学協会連絡協議会に参加 ・臨時総会開催（2010.9.5, 早稲田大学国際会議場）：学会連携による課題解決活動への取り組み決議 	<p>ップ開催（2011.3.9, 筑波大神保町キヤンパス, 30名出席）</p>	<p>方都市活性化のための社会シミュレーション企画調査（650万円）受託（2010.10.1-2011.3.31）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決活動組織化：21学会から延べ80名登録, WG1 農工商医連携, WG2 持続性評価, WG3 経営高度化, キックオフ開催（2010.12.17） ・RISTEX 受託事業に関し報告書提出（2011.3.31） 	<p>（2010.7）, ニュースレター-No.023（2010.10）, ニュースレター-No.024（2011.1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出版検討：横幹事例を記事とする出版計画立案, 想定していた出版社から辞退の申出（2011.1）
<p>東日本大震災（3.11）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定時総会（2011.4.25, 山上会館, 緊急シンポのために16時30分-17時に縮減） ・委員会構成：企画・事業（田村）, 総務・会員（本多）, 学術・国際（安岡）, 産学連携（平井）, 広報・出版（木野）, 会誌編集（税所） ・震災に対する理事会声明「震災の克服と強靱な社会の再構築に向けて」 ・協議会・COCNとの連携模索 ・文書による総会を開催（2011.10.14-11.21）：所在地表示の変更, 電磁的方法による総会・理事会の開催に関する定款変更 	<ul style="list-style-type: none"> ・横幹連合緊急シンポジウム「強靱な社会インフラの再構築に向けて科学技術は何をなすべきか」（出口光一郎, 2011.4.25, 山上会館, COCN後援, 内閣府やメディアを含む70名出席） ・SICE2011（計測自動制御学会年会）にて[TraFST-SICE Joint OS] Social simulation as Transdisciplinary research を開催（2011.9.14, 早稲田大学） ・第4回横幹連合コンファレンス「21世紀のイノベーション創出に向けた知の統合と知の創造～40学会が伝統文化の地・加賀に集う合同コンファレンス～」(小坂満隆, 	<ul style="list-style-type: none"> ・三井物産環境基金, セコム財団, 大林記念財団等へ復興研究に関する助成を応募するも不採択。 ・震災克服研究の連携呼びかけに16学会から回答, 延べ62名登録（2012.1.31） ・震災克服研究の連携活動キックオフ, 36名出席（2012.3.26） 	<ul style="list-style-type: none"> ・会誌「横幹」ミニ特集「人間工学における横幹アプローチ」5-1(2011.4), 「横幹」ミニ特集「信頼性工学における横幹的取組み」5-2(2011.10) ・ニュースレター-No.025（2011.4）, ニュースレター No.026（2011.7）, ニュースレター-No.027（2011.10）, ニュースレター No.028(2012.2) ・会員学会の震災取組みをホームページに掲載（2011.11） ・英文HPを開設（2012.1）

2012	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定時総会 (2012.4.25, 山上会館) ・ 委員会構成: 企画・事業 (田村), 総務・会員 (寺野), 学術・国際 (安岡), 産学連携 (平井), 広報・出版 (田中), 会誌編集 (松岡) ・ 学会賞の創設, 第4回シンポジウムから実施 (木村第2代会会長からのご寄付に基づく) ・ JST 研究開発戦略センターとの連携締結 	<p>2011.11.28-29, 石川ハイテク交流センター・JAIST, 約200名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総会時に震災克服研究に関する連携活動報告, 特別講演 (春日学術会議副会長) を実施 ・ 第4回横幹連合総合シンポジウム「横幹技術による日本再生〜知の融合で目指す強靱で持続可能な社会〜」(山崎憲, 2012.11.1-2, 日大生産工学部, 135名) ・ SSI2012 (計測自動制御学会システム・情報部門大会) にて, 企画セッション「東日本大震災の復興プロジェクト」開催 (2012.11.22, ウィルアいち) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 震災克服研究に関する連携活動として WG-A (生活・社会), WG-B (経営高度化), WG-C (環境・エネルギー) を推進 ・ 調査研究会「リスクマネジメントと経営高度化 (森雅俊, 2012.4.1 - 2014.3.31)」「人工社会 (寺野隆雄, 2012.4.1 - 2014.3.31)」「横幹型人材育成推進 (本多敏, 2012.4.1 - 2014.3.31)」 ・ 協議会実行委員会と連携した共通プロジェクト検討 (候補テーマ: 新興国におけるスマートシティ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会誌「横幹」ミニ特集「横幹的活動としての『タイムアクシス・デザイン』」6-1(2012.4), 会誌「横幹」ミニ特集「社会情報学の視点による東日本大震災からの復興・復興」6-2(2012.10) ・ ニュースレターNo.029(2012.5), ニュースレターNo.030(2012.8), ニュースレターNo.031(2012.11), ニュースレターNo.032(2013.2) ・ 会員学会誌に横幹記事掲載依頼着手 (会員学会員とのコミュニケーション強化のため)
------	---	---	--	--